



THE MAUREEN AND MIKE MANSFIELD FOUNDATION

Promoting Understanding and Cooperation in U.S.-Asia Relations since 1983

ニュースリリース

2016年2月17日

「マンスフィールドーPhRMA 研究者プログラム」2016 参加者募集

(ワシントン D.C.)モーリーン・アンド・マイク・マンスフィールド財団は、第4回「マンスフィールドーPhRMA 研究者プログラム」への参加者を募集します。本プログラムは、医薬に携わる日本の若手研究者8名を毎年米国に短期間派遣し、米国におけるトランスレーショナルリサーチや、保健医療政策、医薬品研究開発について学ぶ機会を提供します。本プログラムは2013年初頭に発足し、米国研究製薬工業協会(PhRMA)の支援を受けて実施しています。

マンスフィールド財団では、日本の国公立機関、国公立大学等の医療・医薬品関係の研究機関、付属機関、教育機関等に在籍する日本人の若手研究者8名を、第4期プログラム参加者として選抜します(民間企業の研究機関に所属されている方は除く)。応募者には、修士号(博士号またはそれと同等の経験を有すればなお良い)および、専門分野における数年間の職務経験を有することが求められます。

選抜された参加者は、本年9月中旬の2週間、ワシントン D.C.、フィラデルフィア、ボストンでの会合に参加し、関連する医療機関や施設訪問をします。帰国後は、この米国研修で実際に学んだ知見や経験を同僚と幅広く共有し、日本の研究開発政策の改善に寄与することが期待されます。応募書類ならびに本プログラムに関する詳しい情報は当財団のウェブサイト：<http://mansfieldfdn.org/program/exchanges/phrma/>をご参照下さい。応募締め切りは2016年4月15日(金)です。

モーリーン・アンド・マイク・マンスフィールド財団のフランク・ジャヌージ理事長兼最高経営責任者は、次のように述べています：「このたび、本年で第4回目の実施となる“マンスフィールドーPhRMA 研究者プログラム”への参加者募集の運びとなり、大変嬉しく思います。これまで当プログラムに参加した研究者は、米国のシニアレベルの専門家と面談し、情報やベストプラクティスを互いに共有するという非常にユニークな機会を享受し、当プログラムに高い価値を見出しています。当プログラムを通じて構築したネットワークや経験、知見を活かし、自身および所属機関での研究への新たな取り組み、そしてサイエンスコミュニティ内の共同研究の推進に役立っていることは、非常に喜ばしいことです。過去の参加者と同様、第4期参加者も、日本における医薬品開発や医療イノベーションの領域で重要な役割を果たすことでしょう。」

モーリーン・アンド・マイク・マンスフィールド財団は、米国歳入法501(c)3条によって認可された民間の非営利団体です。マンスフィールド財団は、モンタナ州選出の上院議員、多数党院内総務、駐日米国大使として、その生涯を通じて、米国とアジア各国の相互理解および協力関係を深めることに力を注いだマイク・マンスフィールド大使(1903~2001年)とモーリーン夫人の意志を受け継ぎ、1983年に設立されました。夫妻が米国とアジア各国との関係について抱いた価値観、理想、ビジョンは、財団の交流、政策対話、研究および教育プログラムに受け継がれ、米国およびアジアのリーダー間のネットワークを生み出し、公共政策に影響を与える根本的な問題を探求し、米国のアジアの国々や人々に対する意識向上につながっています。財団の事務所はワシントンDC、東京、モンタナ州ミズーラにあります。